



# 日本共産党・そねはじめレポート 震災・原発特集号

2011年 6月28日発行 第3号

そねはじめ事務所  
114-0032  
北区中十条2-11-6  
Tel:3907-1135  
Fax:3906-3225

**被災地レポート 全国の支援が必要！高齢被災者の住いがない！！**

## 仮設住宅は入居困難・介護施設はあふれそうな状態

### ●菅総理の「お盆までに5万戸建設」が黄信号・義捐金配られず生活できない悩みも

菅総理が約束した、「お盆までには必要な5万戸の仮設住宅を」との約束は実現が危うくなってきました。現在までに3万2千戸が完成し、岩手・福島は残りを7月中旬に完成見通しですが宮城県は残り9千戸のうち石巻、気仙沼、南三陸町、女川などで4千戸の計画が「土地不足」で頓挫しかかっているといえます。

(写真は石巻の仮設住宅の側溝で泥だし作業をする北区のボランティア)

### ●入居に必要な資金も条件もない高齢者が多数

仮設住宅ができて、当選しながら入居できない高齢者や要介護者の問題は、より深刻です。報道では、宮城と岩手2県で、無事だった介護施設に被災地からの高齢者が1400人以上も定員オーバーで避難しており、このままでは「あふれてしまう」状態です。

公的機関を通じて2000億円以上集まった義捐金は、今こそ生活資金として大切ですが、「公平な分配」を理由に2割ほどしか被災者に届いていません。冷蔵庫やテレビなども、仮設入居時には援助がなく、やむなく自費で買い揃えて一月たった頃に「無料で支給するから取りに来るように」との連絡が来るなど、支援の手遅れが目立ちます。

今後場合によっては、要介護の高齢者を東京はじめ首都圏の施設で受け入れる取り組みも必要になるでしょう。6月20日には永井朋子区議が、要介護の避難者を受け入れ可能な「福祉避難所」の問題で、区の対策を質問しています。



## 7月12日から救援ボランティアの第2次派遣

### 現地へ届ける救援募金・食料や生活物資の購入資金などにご支援を

北区の日本共産党は、7月にも宮城県石巻市の共産党救援センターにボランティアと支援物資を届け、今後も毎月訪問する計画です。



石巻市の三浦(右)・水沢(中右)両市議に募金を渡すそねはじめ前都議(中左)との山けん区議。党のセンターで

今回、ボランティアが道路の側溝の泥だし作業などと、生活物資の無料配布が中心で、暑さの対策も必要なため、少数精鋭で出かけ、帰ってきてから現地の状況を民報読者の皆さんに報告していきます。夏以降は、被災地の様子を皆さんと共に見学し、支援の輪を広げていく取り組みも計画してまいります。

また、救援・復興募金などへのご協力を引き続きよろしくお願いいたします。(お問い合わせはそねはじめ事務所まで)

# 東京民報特集版 **あなたの国保料は大じょうぶ！？**

## ●ある区役所では4日間で5千件もの苦情が殺到

今週の東京民報(7・2 付け)に6月中旬から通知が届いている国保料の改定について記事が出ています。

ある区の窓口には4日間で5千件の相談や苦情・問い合わせがあったといいます。今までも高すぎた保険料を、特に障害者や高齢者、子どもを扶養している世帯に厳しく値上げするのですから、切実な相談が増えるのは当然です。中には泣きながらの相談に担当職員も電話を聞きながらもらい泣きしてしまった例も。

北区では「14日ごろから21日ごろまで2400件の問い合わせ」で「例年より少し多い程度」という区の説明ですが、値上げの中身は区の答弁ほどなまやさしくありません。

## ●区は「2倍以内の値上げ」と言うが・・

王子駅で区政報告するそね前都議と宇都宮区議

6月22日の区議会(区民生活委員会)では、共産党の福島区議が、3倍以上値上げされたという区民の苦情を質したところ、「今年は激変緩和措置で、おおむね2倍を超えない値上げ率に抑えた」と、「収入条件が同じなら均等割の減額率が変わることはないはず」との区の説明でした。



## ●国保料算定変更の落とし穴？

ところが以前より収入が下がった方の中で「国税(所得税)は非課税で確定申告では税額ゼロだが、区民税は課税される」という人が最近増えています。

その場合、国税事務所に確定申告するより、区役所に区民税の申告を行わないと、区は収入申告がないとみなして一方的に高い国保料を通告してることがあるのです。保険料が急に上がって理由が分からない方は、調べてみてください。

また、今までのように「住民税が非課税なら国保料も均等割り料金だけ」ということはなくなりました。家族を扶養していることへの控除がなくなったので、家族の多い方や未亡人の方にはつらい増額が通知されて来ているので、不明のことはどしどし区役所や区議団に聞いてください。

## \*\*\* 都議会の動きから \*\*\*

### ◆都議会で共産党に答弁をはぐらかす石原知事

23日に都議会代表質問で、都が共産党都議団と同じやり方で都内の放射線測定を開始したことを評価しながらも積極的な災害や原発対策を問うと、いかにも答え辛そうにぶっきらぼうな答弁の知事。一方で「何でも反対の共産党も、オリンピックで日本を元気づけるのに賛同を」と、頭の中はオリンピック招致でいっぱいという印象でした。

「五輪しか思いつかない慎太郎」東京・府中 阪本さん (朝日新聞6・25川柳から)

## ◆◆ 東京民報の今週の紙面紹介 ◆◆

### ◆布川事件で再審の無罪を勝ちとった桜井さんの、自分をはげます歌づくり

長年のねばり強いたたかいで再審を実現させ、無罪を勝ち取った布川事件の元被告・桜井昌司さんが、運動のなかで支援の方々と自分を励ますためにたくさんの演歌風歌謡曲を創作して集会などで歌っていたのが評判となり、CDも発売されました。